

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)311144
印刷所 旭印刷
電話(水俣)4101番

第306号

津奈木



舞鶴太鼓の子ども達

環境問題から経済状況、社会不安、教育問題、どう考えても、大変な状況で、明るい材料がありません。こうした状況の中で、我々津奈木町の今後の展望はどうあらねばならないかというふうに考えますと、何をしても、蟻の背に思えて、無力感に襲われます。ですから、ここは一つ、発想を逆転させて、小さな町の、小さな元気が一つ一つ効果を生み出し、やがて周囲に波及し、連動して、広く生き生きとした地域に変わってゆくことが出来るというふうに考えています。

新年のごあいさつ
「着実な一歩は大きな力」
津奈木町長 西川 裕

新春のご挨拶を申し上げます。町民のみな様には、心豊かな毎日をお過ごしのことと思います。さて、改めて新年のご挨拶を思う時、「おめでとう」などと言っておられない気分になるのは、一人私だけの感慨でしょうか。世の中の動きや環境を見ると、地球



西川 町長

そんな考え方手法が、一番力があるように思えてならないのです。一つの信じることを、きちんと自信を持って続けてゆくことが、やがて大きな力になり、広がって、仕事となり、文化になると信じます。

町民の方々が、日常の生活の中で、各々の昔からの家庭の文化を大切に守り、子供達に是非伝えていっていただきたいと思っています。そのことが、地域の伝統文化を守り、町の文化や元気を支えてゆく力になるのです。そして、その町民の方々の心の拠り所として、津奈木町のアロンス像や絵や文化



庁舎美術館 (63)
「油彩」 境野一之作
海の風景 1964
海水浴客が去り、夕暮れの浜はいつもの澄んだ水を取り戻す。波打ち際のすぐ近くまで、小さな魚たちがやって来る。やっと、僕たちの時間が戻ってきたね・・・そう言いあっているように、夕焼けが空を染め始める頃。



昨年度の大会の様子

三太郎駅伝大会に応援下さい
（本町通過時刻予定）
総合グラウンド 10時25分
新川橋 10時30分
中学校前 10時35分
千代畜産碑 10時45分
一月十四日スタート
（中学生の部）
農原由三郎・堀田将豊・福田直也・伊藤章史・林 辰徳・鶴野拓志・森下 明・諫山隼人・門崎照征・福田大典・伊藤晴美・堀田知映・橋本 恵
なお、津奈木町代表選手は次のとおりです。
松永 進・川野又男・川口 香林田祐一・福田 必・森山広行・倉野義彦・宮嶋弘行・平野新市・藤原審二・田口伸二・諫山幸多郎・前田守康・齊藤拓己・篠原智和・諫山吉光・竹本昌広（監督）松永 進（コーチ）浜本繁己・鶴野賢二・新立 広

生がいは自分で見つけるもの 四半的に挑戦しませんか



文化センターでは生涯学習の一つとして「四半的」の普及を推進しています。
練習は海洋センターで定期的に行っており、参加希望者がおられましたら気軽に連絡下さい。（とっても楽しいですよ）
射の道
射は仁の道なり
射は正しきを己に求む
己正しくして而して後発す
発して中ざるときは
則ち己に勝つ者を怨みず
反てて之を己に求むるのみ

お知らせ

成人式御案内
平成八年の成人式は、文化センターで一月三日(水)の午前10時から開催します。成人者の皆さん誘い合わせて参加して下さい。
（受付）
●午前9時から10時まで
※受付は早めをお願いします。
（内容）
●主催者、来賓等の祝辞
●祝舞
●成人者代表謝辞
●ふる里紹介(スライド)
●成人者自己紹介
●記念撮影等

※服装は普段着のままで参加して下さい。

親子「たごあげ」
参加者募集
日時 平成8年1月21日(日) 午前10時から11時40分まで
場所 津奈木総合グラウンド
（次の各賞を準備しております。）
高とび賞・大型賞
小型賞・ファミリー賞
アイデア賞・じんご賞
曲芸賞・地引賞等
（お待ちしております）

◎成人おめでとう 大きな希望とすばらしい人生を創造しよう!!

成人者名簿

地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名	地区	氏 名
竹 中	廣 田 幸 史	古 川	川 崎 雅 水	古中尾	澤 田 伊 吹	平国下	鬼 塚 美 香
	林 裕 子		濱 本 博	倉 谷	楠 本 誠		濱 田 久美子
染 竹	平 野 和 博		川 崎 香 織		中 山 英 史		長 濱 いづみ
	松 永 尚 造		東 かおり		大 森 史 恵	日 当	伊 藤 武
	上 原 はるみ		村 上 予 理		楠 本 里 美		森 山 孝 幸
浜 崎	山 口 功 登		川 崎 沙 織	内 野	谷 口 真 弓		草 野 浩 二
	岡 下 克 徳		瀨 上 美穂子		井 上 大 志		上 村 加 奈
	大 園 香 織		松 崎 千 春		坂 本 太 郎		上 村 美 幸
	小 坂 美 紀	大 泊	新 立 力 士	上下門	門 崎 宏 美	日 添	岩 崎 英 一 郎
	寺 川 亜 寿 香		柳 迫 満		北 山 智 美		林 田 正 好
	山 口 敬 子		柳 迫 勝 洋	川 内	平 松 満 徳		山 口 誠
桜 戸	篠 原 智 美		柳 迫 大 喜		西 平 美 貴		吉 野 貴 則
	釜 あやか		諫 山 里 美	福 浦	福 山 忍		村 田 安 富
町 中	元 村 守		新 立 千 恵 子		福 田 大 作		村 尾 帝 美
	山 本 和 也		浜田香織(新立)		福 山 加 奈 子		佐々木 一 美
新 川	宮 田 浩 司	中 尾	浦 田 克 久	平国上	長 濱 隆 典	小津奈木	山 本 正 一
	濱 本 賢 宣		川 野 敏 宏	平国下	長 濱 浩 文		中 村 貴 志
	濱 本 み ち 子		農 山 忍		福 山 圭 三		濱 本 竜 二
	岩 崎 る み		齋 藤 聡 子		長 濱 亜 紀		永 松 美 紀
古 川	川 崎 孝 義	古中尾	黒 田 博 明		濱 田 美 和	丸 岡	山 内 賀 津 江

◎公民館事業

平国地区 あけぼの学習会 町内探訪



平国地区あけぼの学習会が町内探訪を行いました。本年度は三つの会社とあけぼの苑とグリーンゲイト、文化センター、そして孝女千代のお墓をお参りし、津奈木の文化や先人の遺徳を偲びました。朝八時福浦公民館前を出発。平国で二十七名全員が揃い楽しい一日となりました。三つの会社では、それぞれ特色ある説明を聞き、あけぼの苑は、久しぶりお会いした方とお話がはずみました。孝女千代のお墓は戦中戦後を思い出され懐かし回顧されていました。

つわぶきセミナー 美しく年を 重ねるヒント



一日に五回は鏡を見ましよう。これは、つわぶきセミナーで講師の方が最初に言われた言葉です。

地区の話題

竹中子ども会 十三夜祭り

竹中子供会は、簡易保険の還元金によって、運営されています。夏の海水浴、秋の十三夜の綱引、二年に一度の日帰り旅行を行っています。今年も十一月五日の夕方六時より、百人近く集まり、保護者の皆様の協力をお願いして、ボール遊びや綱引等行い、その後、準備していただいた焼そば、タコ焼を食べました。美味しく間に合わない程、子供達が喜んで食べてくれました。ちよつと寒い夜でしたが、親子で楽しいひとときでした。



竹中子ども会

染竹公民館 13夜相撲大会

十三夜は、ワラで大綱を練り、それを丸く積み上げその中に十三才の男子が入り、十三夜のお月様に向って、「只今から大綱を引き、相撲を取って御覧に入れますので来年も豊作であります様に」と祈願を致します。現在では子供や相撲を取る人達も少ない為、地区の肝いりどんの世話で親子夫婦相撲も見られ、父ちゃん頑張れ母ちゃん負けるなぞ、と声援が飛び大変賑やかです。(松田記)



十三夜相撲大綱

倉谷地区の 運動会!!

倉谷地区の運動会は、早いもので十年になります。毎年十一月の第三日曜日に地区の年中行事として行っております。



あめ食い競走

読書感想文

『おかわりいらない?』
に出てくるかすみちゃんへ
平国小 2年 ひら野 のぶ明



かすみちゃんは、すごいですね。きれいな、ドーナツパンとミルク、それに、デザートが出たね。かすみちゃんが好きな、バナナ、チョコレート、アイスクリームが出てよかったね。

このパーティーは、本当はおかあさんのおねえさんのパーティーだよ。おきやくさんは、せきを一すづつかえるんだよね。おきやくさんは、何人くらい赤い小さなぶぶんにすわったのかな。よつばらった大人は、何人くらいいましたか。かすみちゃん、おなかこわしませんでしたか。アイスクリームを三本も食べて。かすみさんは、本当にすごいね。

体力づくり・地区の活性化を目的として、そして何よりもみんなが楽しく一日を過ごせるようにと考えています。競技種目は、幼児リレー・夫婦リレー・あめ食い競走・順送球・ナイスキャッチ・年代別リレー・人さがしなど他にもいろいろあり幼児から七十代の人までみんなが参加できるようにしています。昼食時には、新婚さん紹介やおもしろい「にわか」もあります。日頃、勤めにたたりしてなかなか会えない人達とも顔を会わせることができて、楽しい交流ができました。これからも、倉谷地区の運動会を続けていきたいと思っています。(井川 涉記)



成人になって 私の決意



福田 大作

物事を、ある状態から変化させるということ、かなりのエネルギーを要することである。私は成人式を迎える訳だが、その慣習に於いての変化に於いて、その意義と同等、もしくはそれに可能な限り近い状態を求めるならば、相当な意志、そして、その継続が必要となる、と私は思う。今まで私は、あらゆる妥協の中で生きてきた。人間は誰しもが、自己を防御するために「妥協」という能力を発揮するものだ。しかし、私はここで小さな革命を起こそうと思う。人生においての様々な誘惑をかわし、より高い自己の理想像を追い求めて行きたい。



浜田 香織
(旧姓 新立)

私も、ようやく成人を迎えることになりました。「成人」という言葉に、今までは



岩崎英一郎

成人。人生の一つの節目であるこの時を目前に、その意味も判らず立ち止まっている自分を、未来への喜びと不安という大きな力が背中を押し、その足を進ませようとしている。そんな状態の中で、「大人になる」ということがどういうことか自分なりに考えてみる。単に飲酒



西平 美貴

夢は、叶わないから夢と言わずにしようか。

私は、夢は努力と運によって叶うものだと思います。「人間には、一生の中で三度の運が廻ってくる」と聞いた事があります。しかし私は、努力によって運は幾度となく廻ってくるものだと信じています。そして、夢があるからこそ、人は努力する事もできるのではないのでしょうか。年を老うことに、夢を忘れていく人は昔にくらべて増えてきているように感じます。だからこそ、私は、いつまでも夢に挑戦できる大人になりたいです。そして、夢をいつまでも叶えていきたいです。

「宇宙に夢中」(2)

今日の天気は晴れるかな？
雲り空で延期となった天体観望を
十一月一日(金)に実施すること
ができました。保護者五名の方々
にも参加いただき、午後六
時三十分、四十二名を乗せ
たバスは、路出水市青年の
家へ出発。到着後はまず、
係の方より星についての説
明や諸注意があり、さっそ
く二階のドーム室へ移動し
ました。まず、五百ミリの
望遠鏡の大きさに子供達か
らのどよめきの声があがり
ました。少し曇り空でした
が、月の様子や土星を見る
ことができ、保護者も含め
「宇宙のロマン」の一端を
かいま見る思いがしました。
最後に、スライドで冬の星座を
学習し、楽しい天体観望を終える
ことができました。



秋空高く 舞い上がる(3)

11月3日(金) 第3回目のサ
クル活動を行いました。今回は、
保護者にも呼びかけて、ベッ
トホルを使ったロケットを製
作しました。作り方や飛ばし方
もわからず、計画の段階から
四苦八苦の連続でしたが、水
俣の「おもしろサイエンス
クラブ」が作ったロケット
や説明書を参考にしながら、
それらを元に子供達と慣れな
い道具を使って、何とか2時
間で全員、作り上げました。
さて、これからが楽しみの
打ち上げです。話しも早々に
終わらせ、津奈木小学校グラ
ウンドへ到着。さっそくロケ
ットに水を入れ、自転車の空
気で圧力をかけます。期待と
不安の瞬間です。発射台を操
作した瞬間、ロケットは、空
中高く水を押し上げて飛ん
でいきました。団員と保護者
からの拍手喝采を受けた楽し
い一日となりました。



ふれあい祭り ◎文化部門

津奈木町のふれあい祭りが、前
日の悪天候が嘘の様な秋晴れの、
大へん好天気に恵まれ、沢山の
人々を迎えて盛大に行われました。
B.G.体育館では、小中学生の作
品展示、町民文化部門の展示、地
名研究会の提示や菊作り同好会等
例年より町民の出品が多く、文化
面でのそれぞれの立派な作品が並
べられて、毎年向上のあとがうか
がわれ、見る人の心をなごませて
いました。



芦北郡 公民館管外研修会 多良木町中央公民館

芦北郡公民館連絡協議会が主催
して、自治公民館活動に携わっ
ている郡内の関係者三十一名(本
町十四名)が参加して、芦北郡公
民館管外研修が十一月二十七日
球磨



◎クロスカン トリー大会

クロスカン トリー大会は、3
km、8 kmの三つの部門にわか
れています。3 kmがファミリーと
小中学生と一般女子で、家族が互
いに励まし合いながら協力して頑
張っていました。5 km・8 kmは、一
般と中高生が津奈木の緑と彫刻の
ある自然の中を、また重盤岩や舞
鶴跡の下を走り快い汗をかきま
した。家族づれで仲よく走る姿や
お互いの声をかけ応援している光
景は、気持ちのよいものでした。
この大会で会長挨拶のように、活
力ある津奈木を沢山のみなさんに
知って頂き、併せて町づくりの活
性化につなげていきたいです。

郡多良木町で行われました。
多良木町は人口一万三千人余り
有し球磨郡内では最大の町で、公
民館活動においても、昭和六〇年
に施行された毎年三月末に大会が
行われている。多良木地域ぐるみ
で青少年健全育成町民会議、子ど
も会育成、青年学級、家庭教育学
級などの事業を実施。
一方地域の活動を公民館分館と
位置づけ、ボランティアに花の植
つけ、広場の草刈り作業、児童と
老人とのグラウンドゴルフ、老
人ホーム訪問、七十歳以上の一
人暮らし老人宛に年賀状書き、手
話教室など、その地域でできるこ
とを取組んでいるとのことでした。



町単位での公民館活動について
は、本町の取組みは他の町に比
べて大差はないように感じました。
要は参加する住民が主役であるこ
とを忘れてはならないと思いま
した。(石田記)



平国天子宮 奉納相撲

今の人達が全く知らない昔から
毎年十一月、天子宮のお祭りに
地区青年団員による相撲を奉納し
てきました。氏神様は景行天皇で
す。船で合串に上陸され、現在
神出「云々地名」とお宮があります。
戦後は巾着綱が多く、人出もあ
り盛大な奉納相撲を行ってしま
したが、近年青年団員も少なくな
った為、十五年前より小学生の
四、五、六年生の協力を得て継
続しています。赤ちゃんの土俵入
りもあり毎年大へんな賑わいとな
っています。
本年もお天気に恵まれ、沢山の
人々の応援を得て盛大に挙行す
ることができました。(平野記)

ここに、こんな人が……

音楽とともに

田中 里佳先生
(津奈木中教諭)
教職四年目の田中先生(二十四才)は、初任として津中に赴任され、音楽の担当教諭として活躍頂いていま
す。
先生の出身地は、八代郡宮原町ですが、三才の時「ピアノを習いたい」と言い出され、五才になってやっと両親からの許可をもらい、レッスンを始められ、



現在に至るそうです。「ここまで
これたのは、先生(ピアノ教師)に
恵まれたのが一番だと思ってい
ます」と話される田中先生。
平成六年九月より先生の指導の

育てられた。甘やかしてもら
ったが、ちょっと悪いことをし
たり自分に都合のよい嘘をつく
と、良く叩かれ、その後納戸に入
れて反省をさせられていたのを
今でも時より思い出します。こ
の事を繰り返すことによって、
成長したように

教育雑感「しつけ」

金森 満

思っている。
もともと教育の教という字は略
字で、昔は教と書いたキョウと
コウとも呼び、効と同じ意味に
解釈されている。右側の女とい
う字は「少し撃つ」という意味
を持っており、おしえ導くにあ
たって効

乱したりするようになったので、
親の方がすっかり自信を失い、
経済成長と共に金銭面で甘やか
しつけの出来ない家庭が増加し
ている。それならば、先生に鞭
を打たせようという意図が、法
的な面からみて、心情的にもそ

れが出来ない。だとすれば、子
どもを「少し撃つ」本来のしつけ
をやばり親が自分でやるべきも
のであろう。鞭の味を教えない
でだまの味だけ覚えさせれば、
社会の一員として生きて行くこ
とに支障をきたすことは目に
見えている。社会生活をして行
くためのルールを身につけな
いまま、家や学校を出れば就職
先の職場で教育が必要になっ
て来る。日本ほど社員教育に熱
心な国はないと言われている。
学校は、勉学と、生きる喜びを
教える場所でありたいと常々思
っている。何分、現職であるの
で誤解のないようお願いいた
す。

(津奈木中学校長)

わが町の文化財・石造物(8)

平国神田の神石と、天子宮鳥居
神石縦55cm 横90cm、長サ180cm
天子宮鳥居 横270cm、高サ350cm
奉寄進 明和二年西六月吉日
平国、赤崎、福浦

平国天子宮

短歌

宮崎 優選

乱れたる世想をたかくか時じくの
電はつづての如く落ち来ぬ

寺本ツルヲ

北風は強く吹きて病む夫の部屋
を温め冬を気使つ

西 滋子

掬うこと両掌の水に顔洗う他愛なき
事に涙はいづる

白浜美和子

長者原の小野屋の宿に遠く来て紅
葉深む夜をかたり合ふ

野田 浦子

飼主の呼ぶ声聞きて死期迫る猫は
目をあげ顔上げるなり

柳迫いづも

朝露にきらめく稲穂先づ眺め株の
感触にぎり鎌入る

福田八重子

丈程に漣に芽伸び盛る刈り行く汗
は誰が受けつぐ

宮崎 優

今日の秀歌

四十を過ぎたる息子に苦言しぬ小
豆採りつづつと日の空し
寺本ツルヲ

肥後狂句

とそ氣嫌 あつちこちに大振舞
思い出し 行つたり来たりきや
れた 神無月
とそ氣嫌 一杯ごとに若なる
思い出し 津奈木太郎の峠越え
達生
とそ氣嫌 ちとお年玉やりすぎた
思い出し 昔にかえろごたります
万葉
とそ氣嫌 挨拶巡りでちと効けた
思い出し 今年しや金婚式たいネ
微
十一月号の達生氏の句に誤りが
ありました。おわびして左記の様
に訂正します。
大嫌い 地球泣かすなシラク殿
(次笠) よか話、言うばかり
一笠一句つづ二月十三日まで
つなぎ文化センターへ